News Release

株式会社日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency,Ltd.

26-D-0888
2026 年 10 月 28 日

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

住友三井オートサービス株式会社（証券コード:－）

【据置】

長期発行体格付	ＡＡ－
格付の見通し	安定的
債券格付	ＡＡ－
発行登録債予備格付	ＡＡ－
国内ＣＰ格付	Ｊ－１＋

■格付事由

(1) 住友三井オートサービス（ＳＭＡＳ）は、オートリース大手であり、住友商事、三井住友ファイナンス&リース、三井住友フィナンシャルグループ（SMFG）の持分法適用関連会社である。長期発行体格付は、オートリース業界における高い市場地位・競争力、比較的良好な収益力および資本充実度などを反映している。各株主からは取締役が派遣されているなど、経営への関与度は強い。また、住友商事および SMFG の戦略的共同事業であるオートリースを一手に担っており、戦略的・機能的重要度が高い。そのため、各株主の関与度および経営的重要度を踏まえ、単独信用力を基点に各株主による支援の蓋然性を加味している。

(2) オートリース業界における市場地位・競争力は高い。各株主やパートナー企業との連携を通じ、強固な顧客基盤や高い車両調達力を有しており、グループ保有管理台数は約 111 万台と業界トップクラスである。近年はオートリースにとどまらず、車両管理や安全運転支援、EV 導入支援など、車両利用に関する幅広いサービスを提供している。その一環として、事故代車レンタカーを手掛けるマースシフトや、自動車・設備リースや EV 導入支援などを手掛ける KD ｅソリューションズを連結子会社としている。今後、グループ各社やパートナー企業との連携を通じてサービス提供力を高め、さらなる競争力の強化につなげられるか注目していく。

(3) 収益力は比較的高い。新車契約の増加に伴う営業資産の積み上がりに加え、中古車価格の高止まりによる満了車売却益や、再リース契約の堅調な推移なども寄与し、増益が続いている。ROA でみた収益性も良好である。今後は、車両メンテナンス費用や人件費、資金調達費用の増加が利益の下押し要因となる。もっとも、営業資産の増加やコスト上昇分のリース料への転嫁により、収益力は比較的高い水準を維持すると JCR はみている。

(4) 資産の質は健全である。堅実な与信運営方針の下、信用リスクは抑制されている。与信事故の発生件数は少なく、対象車両の回収状況も問題ないことから、営業資産対比の貸倒関連費用は限定的な水準にとどまっている。残価リスクについても、中古車市況を踏まえた保守的な運営がされており、大きな懸念はない。

(5) 資本充実度は比較的良好である。利益の蓄積により自己資本は増加している。資本の質などを考慮した JCR 調整後の自己資本比率は十分な水準を保っており、リスク対比でみた資本の余裕度は確保されている。流動性についても特段の懸念はない。三井住友銀行を中心に多様な金融機関と安定的な取引関係にあり、強固な間接調達基盤を構築している。CP や社債などの直接調達を通じた資金調達の多様化も進んでいる。

（担当）坂井　英和・市成　祐志

Copyright © Japan Credit Rating Agency, Ltd. All Rights Reserved.

■格付対象

発行体：住友三井オートサービス株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 10 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）	100 億円	2023 年 8 月 25 日	2028 年 8 月 25 日	0.569%	AA-
第 11 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）	200 億円	2024 年 2 月 20 日	2029 年 2 月 20 日	0.673%	AA-
第 12 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）	100 億円	2024 年 10 月 25 日	2029 年 10 月 25 日	0.933%	AA-
第 13 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）	100 億円	2025 年 2 月 17 日	2030 年 2 月 15 日	1.290%	AA-
第 14 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）（サステナビリティボンド）	200 億円	2025 年 8 月 22 日	2030 年 8 月 22 日	1.436%	AA-
第 15 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	150 億円	2026 年 2 月 16 日	2031 年 2 月 14 日	2.047%	AA-
第 16 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2026 年 8 月 21 日	2029 年 8 月 21 日	2.152%	AA-
第 17 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	140 億円	2026 年 8 月 21 日	2031 年 8 月 21 日	2.568%	AA-
第 18 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	60 億円	2026 年 8 月 21 日	2033 年 8 月 19 日	2.903%	AA-

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	1,500 億円	2025 年 10 月 9 日から 2 年間	AA-

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	2,400 億円	J-1+

Copyright © Japan Credit Rating Agency, Ltd. All Rights Reserved.

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. **信用格付を付与した年月日**：2026 年 10 月 23 日
2. **信用格付の付与について代表して責任を有する者**：宮尾　知浩
   主任格付アナリスト：坂井　英和
3. **評価の前提・等級基準**：
   評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
4. **信用格付の付与にかかる方法の概要**：
   本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024 年 10 月 1 日）、「リース」（2025 年 2 月 7 日）、「企業グループの傘下会社の格付方法」（2022 年 9 月 1 日）、「金融グループの持株会社および傘下会社の格付方法」（2022 年 9 月 1 日）として掲載している。
5. **格付関係者**：
   （発行体・債務者等）　　住友三井オートサービス株式会社
6. **本件信用格付の前提・意義・限界**：
   本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
   本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
   本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. **本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者**：
   ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
   ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. **利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要**：
   JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. **格付関係者による関与**：
   本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. **JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置**：なし

■**留意事項**
本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等をすることは禁じられています。
予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

■**NRSRO 登録状況**
JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ（https://www.jcr.co.jp/en/）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■**本件に関するお問い合わせ先**
情報サービス部　　TEL：03-3544-7013　FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所
Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者　金融庁長官（格付）第 1 号
〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8　時事通信ビル

Copyright © Japan Credit Rating Agency, Ltd. All Rights Reserved.